

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	106	国際交流員配置	会計	01	一般会計
基本施策	55	外国人と交流でき、共生できる地域社会をつくる	款	02	総務費
担当部課名	企画振興部 文化国際課		項	01	総務管理費
作成者氏名	松本博臣	連絡先	目	07	文化振興費
		22-9624	細目	102	国際交流推進事業費
			細々目	01	国際交流推進事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)					
	市民	外国人との交流を通じて、異なる文化について関心や理解を深め多文化共生社会を担う市民が増える					
本年事業内容	・英語圏の国際交流員2人を配置 ・国際交流関係事務の補助(翻訳・監修、交流事業の企画・立案及び助言と協力、外国からの訪問客の接遇・イベントでの通訳) ・市職員・地域住民に対する語学指導 ・国際交流団体の事業活動に対する助言・参画 ・地域住民の異文化理解のためのイベント等の交流活動への協力						
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	語学指導等を行う外国青年招致事業

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
	人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)	事業費(B)	10,528	7,155	5,044
	給料	7,517	5,075	3,774
	その他	3,011	2,080	1,270
	合計(A+B)	11,968	8,595	6,484
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
一般財源	11,968	8,595	6,484	
上記①～③に関する特記事項				
②19年度1名分給料、手当、共済費、役務費、使用料及び賃借料				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
英会話教室(一般)	回	6	6	6			
国際交流員の配置	人	2	2	1			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
翻訳・通訳件数	事業の一環として位置付けている翻訳・通訳回数が活用の指標となる。	件	10 目標 ( 10 )	10	10
講師派遣	事業の一環として位置付けている翻訳・通訳回数が活用の指標となる。	回	12 目標 ( 12 )	12	12

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

・合併前の市町村では、英語圏の国際交流員が3名配置されていたが、合併時に帰国による1人減で2人の配置がされさらに平成18年8月から1名減とする
---

評価	必要性	4	英語圏の在住外国人および世界共通語を通じて国際交流及び翻訳・通訳を行っている	総合評価
	有効性	3		A
	達成度	3		
	効率性	3		